

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 11

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		職員住宅改修工事業					
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名		管財係	
	管理職	職名	課長		作成者	職名	
		氏名	久保田和孝			氏名	
事業の概要	職員住宅の内外部の老朽化が進み、近年、新採用職員の入居が無い状態であることから、屋根塗装や浴室脱衣室の改修工事を行い、住環境整備を図り入居者を確保する事業である。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 21 年度 ~ 24 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 20,000 千円 事業費計 20,000 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業		優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~					
	基本施策	18 住環境の整備					
	単位施策	2 良好な住生活の確保					
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	7,875 千円	千円	6,000 千円	6,000 千円	
	合計	千円	7,875 千円	千円	6,000 千円	6,000 千円	

582

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	住宅内外部の老朽化	職員住宅改修			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良好な住生活の確保	指標(指標計算式/解説)	職員住宅改修工事		
		目標年度	平成21年度		
		目標値	1 棟		
		実績値	1 棟		
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	住環境整備を図り入居者を確保する	目標年度			
		目標値			
		実績値			
		達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
職員住宅改修工事	指名競争入札により業者を決定し、末広2区職員住宅1棟3戸の浴室等改修・屋根塗装補修等、住宅内外部の改修工事を実施。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	住宅内外部の老朽により入居者の確保も困難である為、改修等住環境整備を図ると伴に入居者を確保する為には、計画的に改修工事等をする必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	住環境整備を図り入居者を確保するためには、有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	改修工事を行ったことにより良好な住生活の確保、及び入居者確保が図られた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	職員住宅入居者が対象であり公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
改修工事により入居者の確保も図られたことから、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持		
住環境整備を図るため、今後も継続が必要である。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--